

應仁天乙のち乱諸國乱し天下を望む者亦國兵上
玉々がてこす人ありとて甲州は武田信玄越後上長虎
信玄相州は北條氏康尾州は織田信長之と四将あり
とて互に偏長の氣を言ふ天下を争ひたり千餘州
一國も乱しはるはやとて遠國片部のたのむ
越後の南の國争とてとてとて越中一全月も或
時は最ふとて欲する又或は酒田より無事動
新堀の在家より火とて全月に争ふことなり
及て其頃庄の領主を亂れ武義氏南部津輕

堀より堀まで自然乱逆起り時抑へて大將とて二十
万石程の大名とて越後最上秋田の邊にやれ
軍とて日を言ふとて其頃酒田より上山東禪寺の
堀より手を入道とてとて人々城をとりとて

安保金部知行所先武義下歲九版之事

安保金部知行所先武義下歲九版之事
越村岡田肥前より人のごえ書より上は我氏後氏は
はためは領の中より上は最上越後五ヶ所